

—未来をひらく—

竜爪山 九条の会

りゅうそうざん
きゅうじょうのかい

会報 2023年8月発行 通巻41号

発行/竜爪山九条の会・事務局

〒420-0812 静岡市葵区古庄3-19-34 五井卓方

TEL・FAX 054-264-4918

E-mail ryusouzan9@gmail.com

URL <https://ryusou9.jimdo.com>



巻頭言

北野 豊 (古庄)

竜爪山九条の会は2007年に発足した。以来16年間、細々ではあるが灯をともし続けて来たが、活動の先細りは認めざるを得ない。けれども、私たちは大きな運動が必要になった時、すぐに立ち上がることができるよう、せめて「種火」だけでも残していかなければならない。この時点に立って、私は三つのことを強調したい。

第一。九条の会をつくった大きな目的が、「日本国憲法を変える国民投票がおこなわれた時、反対票が過半数になり、改憲を阻止できるよう、世論をつくりだしていくことであること」を再確認しておきたい。

第二。日本国憲法、とりわけ前文と第九条を無視した政策がつぎつぎ進められていること。とくに、大規模かつ急速に進められた時期が二回ある。

まず、安倍政権。2014年から翌年にかけて、「集団的自衛権行使容認閣議決定」をはじめ、「特定秘密保護法制定」「96条改正案」「平和安全関連法制定」「テロ等準備罪」など、国民の大きな反対の声を押し切って強行された。

つぎが岸田政権。まさに今である。これは2022年のロシアによるウクライナ侵略、そして中国の脅威という二つの「リアル」を背景に進められている。世界で最大規模の軍事同盟NATO（北大西洋条約機構）が結束を強めつつ拡大。これにアメリカが太平洋地域で軍事同盟を結ぶ日本・韓国・オーストラリ

ア・ニュージーランドが相互に連携を強め、なおかつNATOとの連携強化が図られている。今年、自衛隊は初めてオーストラリア軍と実弾訓練を実施。F35の共同訓練も計画している。NATOの東京事務所開設も検討されている（フランスは反対）。もはや日本の自衛隊は、アメリカを中心とした軍事同盟がつくり出す集団的自衛権の枠組みにしっかりと組み込まれ、自衛隊の存続が日本国憲法と何とか折り合いをつけてきた「専守防衛」は骨抜きになってきている。

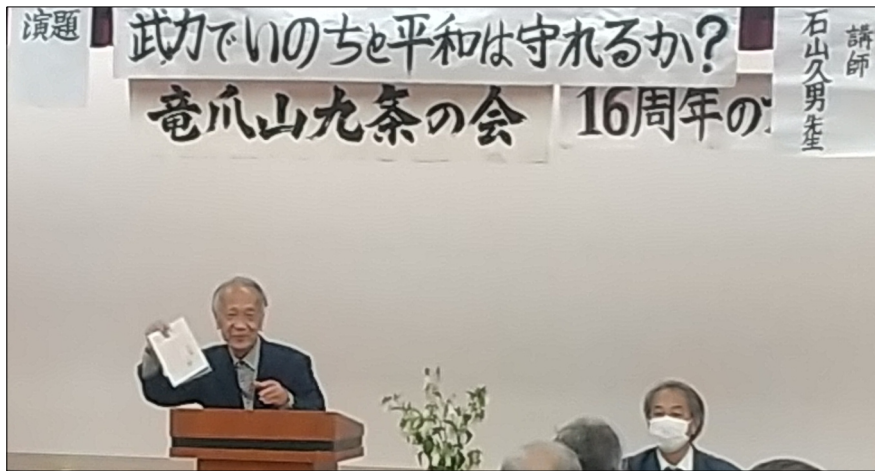
第三。今、世界には「G7諸国」と「中露」を軸とした大きな対立・分断があり、「世界平和」の大きな脅威になっている。これを、協調・協同による「世界平和」実現にむかわせるために、何よりも、戦争をなくし、平和をつくり出すことを、私たちは人類共通の課題として認識しなければならない。戦争は多くの悲劇と貧困を生み出す。そして、人類を滅亡させるかもしれないのだ。

私たちは人類の知恵として、すでに「国際連合」をもっている。ASEANなど地域平和の枠組みをもっている。さらに侵略戦争への反省から生まれた「日本国憲法」をもっている。これらをおおいに活用して、「人類共通の課題」を実現していこうではないか。



石山久男先生インタビュー

聞き手：北野 豊



当日使用した冊子を手にされる石山久男先生。5月21日(日曜日)「竜爪山九条の会16周年のつどい」東部生涯学習センターにて。

北野：石山久男先生には、五月におこなわれた「竜爪山九条の会16周年のつどい」における学習講演会でのお話し、ほんとうにありがとうございました。分かりやすく、聴きやすく、とても好評でした。当日、テキストにした「教育子育て九条の会」発行の冊子も、「あの人にも読んでもらいたいから、もらえないか」ということで、後日、何冊もお渡ししました。

今日は、会報に載せるためのインタビューですが、ぜひよろしく願いいたします。早速、第一の質問ですが、石山先生の活動の中で、多くの人に憲法について考えてもらうため、どのようなことをおこなっていますか。

石山先生：まず私が地域でやっていることとしては、「調布九条の会 憲法ひろば」と「戦争はいやだ調布市民の会」での活動があります。前者のほうは、おもに毎月1回の学習例会の企画運営に会の事務局の一員として参加しています。テーマはできるだけ多くの人が関心をもってもらえるよう、憲法と関連づけながらもかなり幅広いテーマを取り上げてきたつもりです。最近では、杉並区長選にまなぶ地方自治という希望、安保3文書と日米同盟の今後、戦争をさせないASEANの仕組み、マイナンバー制度は私たちの社会をどう変えるのか、PFAS汚染対策と住民運

動、などを取り上げています。

後者は主に運動面を担い、月2回の駅頭宣伝と改憲反対・大軍拡大増税反対の署名活動、毎月19日の国会前集会への参加に取り組んでいます。最近はマイナンバーと健康保険証廃止の問題も取り上げていますが、この問題への市民の関心と怒りはかなり広がっていることが伝わってきます。

でも集会などの参加者はどうしても高齢化が進み、人数も減り気味なのが悩みで、なかなか克服できていません。

北野：やはり、多くの人に関心をもってもらうためには、街頭での宣伝はとても重要です。竜爪山九条の会も、おおいに見習わなければと思います。それにしても、高齢化というのは共通の課題のようです。石山先生のところでは、とくに若い人たちへの働きかけで、このようなことをしているということはありませんか。

石山先生：こちらもなかなかうまく進んでいませんが、駅頭宣伝の一部を高校や大学の近くでやってみようかなどと考えているところです。

北野：そうした工夫が、どうしても必要です。ところで、石山先生がお住まいの自治体では、今年から18歳と22歳の市民の名簿を

宛名シールにして、自衛隊に提供するという問題がおこっているようですが……。

石山先生：その通りです。実は2019年に私たち有志が、調布市として自衛隊に個人情報を提供しないことを求める陳情を市議会に出しましたが、市当局は紙媒体で見てもらっていると答えたのを受けて、13対14で陳情が否決された経緯がありました。ところが今年1月、市議会にも市民にも一切説明をしないまま、いきなり電子データで提供することを調布市個人情報保護審査会に報告し、委員会では質疑もまったくないまま了承されてしまいました。1月といえば、まさに安保3文書が閣議決定された直後です。岸田内閣は敵基地攻撃能力も含む大軍拡を進めようとしています。自衛隊員の定員割れが続いているのは、大軍拡推進にとっての大きなウィークポイントであり、その克服のための委員会をつくって議論もすすめているところです。そういうなかで自衛隊への電子データによる個人情報提供という事態がおこりました。

いま私たちは市長に対し個人情報提供の中止を求める要請書の案文をまとめ、市民の賛同の連名をできるだけ多く集めて提出すべく、よびかけているところです。そこで強調しているのは、自衛隊はいままでと大きく変わりアメリカと組んで実際に戦争をする部隊に変わったこと、人手不足は学校の教員、保育士、医療関係職員、福祉施設職員などでも深刻になっていること、そういうなかで市民の命を危うくする自衛隊員の募集にのみ市が特別の支援をするのは市民が願うことではないということです。

北野：この問題。自衛隊員がなかなか集まらないということと併せて考えると、将来の徴兵制にもつながる、見過ごすことができない問題ですね。今、まさに自衛隊も、アメリカなどを中心とした軍事同盟の中に組み込まれようとしているわけで、軍事同盟強化が世界の一つの流れになっているようです。これに対して、国連の活用、ASEANなどの方向性を取り入れた平和の枠組みづくりが重要である、というのが石山先生のご意見だと思

うのですが、一般市民である私たち、具体的にどのようなことをしていけば良いのでしょうか。

石山先生：先日の学習会でも、その時配布させていただいたパンフレットでも、私が強調したかったことは、いま軍備を拡張して戦争に備えるということは、日本に住む人々の命を危うくする最も危険なことだということと、軍備にたよるのではなく話し合いで平和を守ること＝人々の命を守ることは可能な世界になっているということです。それを裏付けるいろいろな事実を私もいろいろな場でお話させてもらっています。

ところがそういう今までの歴史のなかで積み重ねられてきた到達点が多くの人に知られていないために、命と安全を守るには軍備しかないと思う人がなんとなく考えているのが実情です。世界の多くの人々が苦労を重ねて平和を築いてきた歴史的事実が今のメディアによっても教育のなかでもほとんど知らされていないのが、その原因です。

ですから、メディアや教育にたずさわる人たちには、今の戦争と平和をめぐる事実をきちんと知らせる努力を求めなければなりません。一般市民の方々にも、知ることができた事実を少しでも多くの人々に知らせる努力はいろいろな形でできるのではないかと思いますので、そうしていただければ本当にありがたいと思います。その小さな努力が積み上げられることが、日本の社会を変え、世界を変えることにつながっていくのではないかと、それしか道はないのではないかと思います。核兵器禁止条約をついに発効させたという事実を見て、やっぱりそうだなあとの思いを深くしました。

北野：この会報も、「知ることができた事実を少しでも多くの人々に知らせる」ツール、手段になればと考えています。今日も石山先生から多くのことを教えていただきました。ご多忙の中、ほんとうにありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

またまたまた・・・ 咲きました。

五井 卓 (古庄)

10年以上前(正確には記憶なし)愛知県に住む叔母からいただいてきた胡蝶蘭。水しかあげていないのに毎年目を楽しませてくれます。

数年前、3本の内1本が枯れ、昨年は2本の内1本が枯れてはいないのに花が咲きませんでした。そろそろ限界かなと思っていたら、今年は4月上旬に2本とも開花。約一ヶ月かかって満開になり、8月になっても満開のまま診療室を彩っています。

お花屋さんにある胡蝶蘭のような優雅さはありませんが、蝶々が乱舞するような姿はなかなかほかでは見ない美しさがあります。



五井歯科医院の診療室で
咲き続けるコチヨウラン

梶原山での出会いと 後藤寿庵

片野 修治 (瀬名)

ある年の秋の一日、近所の梶原山を散歩中に、一人の岩手県出身のおじさんに出会った。身の上話を聞くと、気仙沼に近い岩手県南部の農村出身。敷地にある先祖代々の墓の下部に目立たない十字架が刻印され、住居は戦国土豪の堀を掘った土をかき揚げ高台にしている。興味深い家と調べているうち、岩手県の実家から系図が発見された。

先祖は鎌倉時代四代公家将軍藤原頼経よりふじわらのよりつね四萬貫、石高に直すと12万石を賜った名家だっ

たが鎌倉幕府の内紛に巻き込まれ全ての領地没収。一族の葛西氏の奥州40万石の転地に伴い、現在の一関市付近に1万石を給付され城を構え盤踞。戦国時代、豊臣秀吉の奥州仕置で主家の葛西氏と共に伊達氏に討ち滅ぼされた岩淵氏が祖先だった。

更に調査すると一族の岩淵又五郎が戦乱に敗れ、遠く五島列島まで恐らく着のみ着のまま無一文で逃れ、そこで宣教師に洗礼を受け、五島列島から洗礼名を後藤寿庵と名乗る。この時、土木技術や西洋の知識を学んだと言われる。京で伊達藩御用商人を通じ、支倉常長はせくらつねながの推挙で伊達政宗から水沢に1200石を給され鉄砲隊長として処遇。奥州にキリスト教伝道に努める傍ら、原野だった村を開墾する為用水路を作り、領民から慕われた。現在も農業用水として胆沢平野を潤している。キリシタン領主として天主堂を建てた。また奥州信徒17名の代表としてローマ教皇への親書を送った。しかし、徳川家光の時代になるとキリスト教禁教が厳しくなり、政宗は彼を惜しみ棄教を迫ったが志は固く、遂には伊達藩を追われ逃亡したと伝えられる。逃亡中も隠れキリシタンとして布教に努めつつ生涯を終える。

大正13年、治水の功により従五位が贈られ、昭和6年館跡に寿庵廟堂が建てられた。毎年9月11日に寿庵祭が行われ、昭和26年宮城県登米市でお墓が発見された。後藤寿庵の生涯は奇跡かと思える程波乱に満ち、東北のキリシタンの父と呼ばれる程、弾圧の下キリスト教布教に尽力した偉大な生涯であった。

一方、たまたま梶原山での出会いが、先祖の偉大な歴史の発掘に繋がった事も忘れてはいけないと銘記したい。



後藤寿庵像
カトリック水沢教会

歴史に学ぶ

富田 家一郎 (瀬名)

現在、世界の政治、経済問題をめぐり中国は「傲慢」「尊大」「非民主」などと論評されることが多い。なぜ?と思う。1793年、清国の乾隆帝の“より自由な通商を求める英国王の使節団”への返書を紹介します。

以下、E・H・ゴンブリッチ(著)『若い読者のための世界史』(2004/12 中央公論美術出版発行)より引用しました。

はるかなる海の向こうにすまう王よ。その遠さにもかかわらず、あなたは、天からさずかったわたしたちの文化にあずかるうとの謙虚なのぞみにさそわれて、ていねいにもあなたの書簡をたずさえた使節をよこされた。しかし、あなたが、わたしたちの天からさずかった王朝にたいする敬意をもって、わたしたちの文化を自分のものにしようとののぞみを実現させる約束しても、わたしたちの習慣と道徳は、あなたたちのそれとあまりに異なり、たとえあなたの使節が、わたしたちの原理を身につけることができたとしても、わたしたちの道徳や習慣をあなたの地に移植することはできないであろう。たとえあなたと使節が、すぐれてものおぼえのよい学生であっても何も得ることはないであろう。

広大な世界をおさめるわたしは、ただひとつの目標をみすえてきた。すなわち、完全な統治を行い、国主の義務を果たすことである。わたしが珍しいもの、高価なものを気にかけることはない。わたしには、あなたの国の産物は使いみちがない。わたしたちの天があたえた国土は、あらゆるものをありあまるほどに所有しており、国境のこちら側で不足するものはない。ゆえに、遠い夷の品物をわたしたちの産物と交換するひつようは何もない。しかし、わたしたちの天があたえた国土が産する茶、絹、磁器が、ヨーロッ



清高宗乾隆帝朝服像(ジュゼツペ・カステイリオーネ画、北京故宮博物院蔵) ウィキペディアより転載

パの民族とあなた自身にぜひとも欠かせないものであるならば、これまでもわたしたちの国土の片すみ広東でゆるされてきたささやかな交易は、これからもゆるされるであろう。わたしは、はるかな大海によって世界からへだてられたさびしいあなたの小さな島のことを気にとめることにしよう。そして天があたえた国の習慣にたいするあなたの無知を大目にみることにしよう。おそれおののいて、わたしの命令にしたがいなさい。

—イギリスの野蛮(帝国主義)を見抜けなかった中国・清はアヘンを禁止したがアヘン戦争を仕掛けられ敗北し、巨額の賠償金と無制限の交易をゆるした。その後、太平天国の乱を支援したイギリスとフランス(帝国主義各国)は1860年には首都北京へ侵攻し、破壊と略奪を行った。その後の中国の辛亥革命と混乱のもととなった。—(同書の要旨)



北京故宮博物院

梶原山と 建長寺梶原施餓鬼会

三輪 矩正 (東瀬名)

梶原山は頂上からの眺望がよく梶原山公園として整備され、多くの市民が訪れています。公園には建長寺管長直筆の「鎌倉本體の武士

梶原景時終焉之地」の記念碑があります。昨年のNHKドラマ「鎌倉殿の13人」でも梶原景時について、「鎌倉幕府初期の有力御家人で、源頼朝の死後に追放され、最後は一族と共にこの瀬名の地・梶原山で自刃」とされています。

この梶原山公園には清掃活動を行っている個人やグループがあります。その一つが「瀬名梶原会」です。会長は岸忍さん(東瀬名町)。竜爪山九条の会の会員も多く含まれています。年4回以上の公園整備作業を行うほか、「梶原一族」の全国団体交流、歴史探訪、関連イベントなど幅広い活動を行なっています。その活動の中に、毎年7月15日鎌倉建長寺で行われている「三門梶原施餓鬼会」への参加があり、私も時々参加しています。

建長寺は、神奈川県鎌倉市山ノ内にある、臨済宗建長寺派の大本山。正式には巨福山建長興国禅寺。1253年(建長5年)に、鎌倉幕府第五代執権・北条時頼によって創建されました。その総敷地面積は東京ドームの1.5倍。境内は国の史跡に指定される有名なお寺です。

この三門梶原施餓鬼会には伝説があります。



建長寺三門梶原施餓鬼会

その由来は、創建間もない頃、三門施餓鬼会を行った直後に遅れて駆け付けた武者のために、もう一度施餓鬼会を行ったところ、その武者は、自分は梶原景時の亡霊だと名乗り、礼を言って姿が消えたといわれています。以来建長寺では毎年7月15日、一度も欠かす事なく三門施餓鬼会と梶原景時のために梶原施餓鬼会を行っています。

現在は午前8時に国宝の梵鐘が撞かれ、本山、近在末寺の僧侶が参加します。今年も大勢の僧侶が参加しましたが、お盆の忙しい時期。式が終わると急いでそれぞれのお寺に戻っていきます。関係者のみ椅子席が設けられ、瀬名梶原会会員もその中に入りました。

「新自由主義＝ 資本家階級からの逆襲」

宮 秀雄 (古庄)

マルクス、共産党宣言冒頭の言葉のひそみに倣えば「新自由主義イデオロギーという妖怪が世界中に跋扈している」。この国の崩壊が止まらない。ストライキ、ましてやゼネストの声が絶えて久しい。連合は自公政権、国民、維新(「身を切る改革」という美名下でコモン＝公共、公助、共助攻撃に邁進)にすり寄って非正規労働者の悲痛な声を聴く耳さえ持たない。くわえて反自民革新統一運動の足を引っ張ってさえいる。

新自由主義イデオロギーは資本家階級＝上＝支配者＝独占資本＝軍産複合体からの階級闘争なのだ、という白井先生の指摘、分析を読んで、ああそういうことだったんだ、と納得した。最近読んだ、白井聡(著)『武器としての資本論』『長期腐敗体制』『生を呑みこむ資本主義』、要約すると「資本は人格を持たない、悪意はない、人情もない怪物、モンスターなのだ。だから地球の自然環境を破壊し、ついには地球そのものを破壊してしまうであろう。それを止める倫理、道徳が資本主義内部にはない等等」。

資本の本質、本音は「金だけ、今だけ、自分だけ」であり「際限なき最大利潤の追求と自己増殖運動」だ、とマルクスはいう。

階級闘争という言葉はこれまでは労働者階級という「下＝被支配階級」からの労働運動、参政権獲得運動等を含める戦いを意味していた。ロシア革命とソ連社会主義国の成立、そして1929年に始まった世界大恐慌を契機に資本主義体制延命策としてドイツ、日本、イタリアはファシズムへ。アメリカは「ニューディール政策」により一定の社会福祉政策を採用。失業対策として多数の公共事業を実施。北欧諸国は手厚い社会福祉政策により中間層増大と格差解消による社会の安定化を目指す。

ところが第2次大戦後、1980年代に入ると「新自由主義イデオロギー」という大嵐が世界中に吹きまくるようになる。サッチャー、レーガン、中曽根に代表される政権下で数々の規制緩和と民営化とコモン攻撃がなされた。その背景にはいったい何があるのか？現在の自公政権の政策を分析する際にも参考になる。

アメリカ、シカゴ大学のM・フリードマン（極端な自由主義、放任政策を提唱した）門下生の経済学者は「シカゴ学派留学生」として卒業後各国の官僚組織、政権中枢、マスメディア、御用学者として財界からの援助のもとに新自由主義イデオロギーの一大キャンペーンを展開してゆく。「戦後、我々資本家階級はあいつら、労働者階級に妥協をし、甘やかしすぎた。一つこらで逆襲してやろうじゃないか」～共助、公助ではなくて自助努力、自己責任、累進課税制度の緩和～結果として社会格差拡大容認、社会保障、社会福祉、教育予算、公共住宅予算等の切り捨て、労働分配率の更なる低下を、労働法制などの数々の規制緩和～結果として軍事予算増大等。

日本では、中曽根による国鉄分割民営化。その後の小泉～竹中（典型的な御用学者、人材派遣会社の経営者＝資本家でもある）路線による郵政民営化もその一つ。こうして社会党の支持母体でもある最大の官公労組つぶしに成功した。うーむ、なるほど！こんなに簡単にうまくいくとは、大成功！！

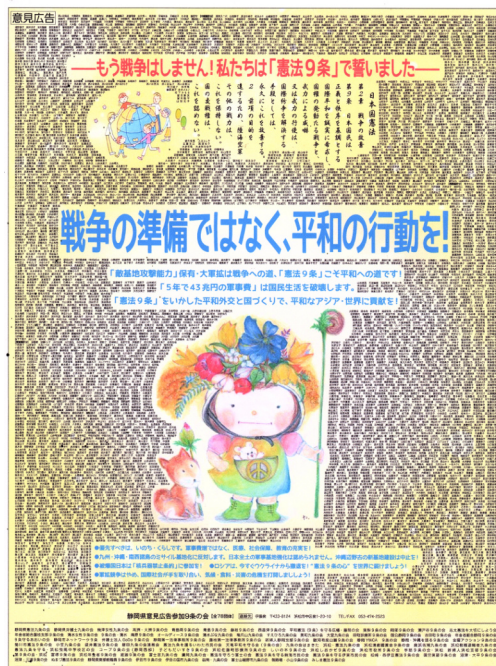
「政治改革」という美名の大キャンペーン

の洪水によって、あっという間に小選挙区制へ。朝日のような大手メディアまでが世論誘導の旗を振った結果である。これで自民党政権も安泰だ。「ドイツを悪くしたのは全てユダヤ人のせいだ」というナチス、ヒトラーのデマゴギー、ワンフレーズポリティックス（小泉の郵政民営化、もその一つ）＝ポピュリズムには気をつけねば。戦前の日本ならば「満蒙は日本の生命線」の例もある。

さて、シカゴ大学、フリードマン門下の宇沢弘文氏はこのイデオロギーに疑問を感じシカゴ学派から離脱、日本へ帰国（シカゴ大学を辞職）。コモン（Common）の大切さと新自由主義の反社会性、危険性を説いた名著、『社会的共通資本』岩波新書を著し警鐘を鳴らした。このコモンの重要性、必要性に関しては最近のベストセラー、斎藤幸平氏の『人新生の資本論』集英社新書の主張につながっている。しかし、彼らによる逆襲は止まらない。今や労組組織率は17%。非正規労働者が50%を超えて、教員さえも含む非正規公務員も急増。戦後間もないころならばストライキでこれらの諸悪法への反対、抵抗運動が起きていたであろう。これほどの岸田大軍拡へのゼネストなどは起こりようもない。「組合つぶしも上手くいったぜ。大成功だ」。

2023年意見広告

5月3日、朝日新聞と毎日新聞の朝刊に掲載された意見広告。県下の賛同団体は81、賛同者は5114名（昨年は5343名）でした。竜爪山九条の会の賛同者は207名（昨年は200名）でした。





三友花

三友花とメダカ

大坪 美恵子 (千代田)

ここ千代田に引越してきて、あと数年で50年になる。人間だけがえらく年をとった感じがする。

花が好きで、いろんな花をほしくなり、あれもこれもと買ってしまった。庭師の人に、「これ以上、花も木も増やさないで下さいよ」と何度か注意されたが、私の悪い癖はおさまらなかった。猫の額ほどの庭に、あれやこれや所狭しと花が植えられている。かわいそうに、いくつかの花が絶えて姿を消した。

私のお気に入りには「三友花」。葉は艶やかな緑で、ちいぢな白い花をつける。ずっと目を楽しませてもらっていた。ところが今年の一月、ひどい寒波にやられ、花は一つ残らず茶色になって萎れて垂れさがってしまった。「恨めしや〜」と訴えているようであった。

六月に植木屋さんが来て1mぐらい短くしてくれたので、茶色く萎れた姿は見えなくなった。七月、ちらほらと白いフリルのある花の姿が見られるようになった。よくがんばってくれた。

そして、同じく七月から、かわいいメダカが増えた。足音がすると、エサを食べにたくさんメダカが寄ってくる。

「おはよう。みんな元気だねー。食べていいよ」。

「いただきま〜す」と言っているかのよう

に、一斉に食べ始めるメダカ。
賑やかな、朝の恒例になった。

日々の暮らしの中で

望月 喜子夫 (油島)

36年間のサラリーマン生活を経て、はや25年、人生の最終コーナーに入った感じがします。これと言って欲しいものもあまりなく、朝起きて晴れていれば畑に出て、雨の日は書に親しむ今日この頃です。

そうした中で詠んだ歌を、『八十歳百姓爺さんの歌集 やまなみ 山脉』から、三首選びました。もとより歌の心得があるわけではなく、全くの素人の自己流ですので、読んでお笑ください。

雨続き合間を縫って草をとる
三日前に取りし畑の
水やりが日課となりし夜明け後の
日照り続きの野菜畑に
名月を一目見たくて縁側で
空見上げつつグラス片手に



昨年の中秋の名月は9月10日、今年は9月29日

「平日の明るいうちからビール飲むごらんよビールこれが夏だよ」
話題の歌人・岡本真帆さんの歌を拝読すると、ちよつとやってみようかな、なんて思ってみたり…
二年ぶりの会報発行です。皆様の感想や投稿、お待ちしております。
寺井

編集後記